

分析結果報告書〔4〕 1 / 2

1.4 水質試料1 (ほう素)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001～9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガイド25) 4. MLAP 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析担当者名	
分析担当者の経験年数	()年
分析担当者の実績（年間の分析試料数）	()

回数	分析結果 (mg/l) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. メチレンブルー吸光度法 2. ICP発光分光分析法 3. ICP質量分析法 4. その他()
使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他()

<吸光光度法>

試料量	()ml
測定波長	()nm

<ICP発光分光分析法>

ろ過等の操作	1. 行わない 2. ろ過 3. 遠心分離 4. その他()
試料の希釈	希釈倍率() 注4)
ICP発光分光分析装置	1. 波長走査(シーケンシャル) 2. 波長固定(マルチ) 3. その他()
装置の型式	
バックグラウンド補正	1. 行う 2. 行わない
超音波ブライダ-の使用	1. 使用しない 2. 使用する
測定時間	()秒
測定波長	()nm

注4) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

分析結果報告書〔4〕 2 / 2

< ICP質量分析法 >

ろ過等の操作	1.行わない 2.ろ過 3.遠心分離 4.その他()
試料の希釈	希釈倍率() 注1)
積分時間(質量数毎)	()秒
質量数	()

注1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

< 検量線の作成等 >

定量方法 方法 内標準法：内標準物質の種類	1.絶対検量線法 2.標準添加法 3.内標準法 1.イットリウム 2.インジウム 3.タリウム 4.ビスマス 5.その他()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小() ~ 最大() 注2) ()
試料の指示値	()
空試験の指示値	()
検出下限値	() mg/l 注3)

注2) 吸光光度法では分液漏斗に取った量(μg)、ICP発光分光分析法及びICP質量分析法では分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/l)を示す。

注3) 試料中の濃度(mg/l)を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--